



いぬの混合ワクチン

伝染病には感染後、発症すると有効な治療法がなく、ワンちゃんの生命をおびやかすものがあります。ワンちゃんをこのような伝染病から守る有効な方法はワクチン接種による『予防』です。

ワクチンはウイルスの毒性を弱めたもので、病原体を攻撃する『抗体』をワンちゃん自身に作らせる働きをします。抗体は感染症に対する『自分で作るくすり』のようなものですが、感染してから接種しても効果はなく、健康なときにワクチンを接種して『抗体』を体内に準備しておく必要があります。

当院では 10 種混合ワクチンを取り扱っております。

このワクチンは以下のウイルス感染症を予防します。

犬ジステンパー

犬伝染性肝炎

犬アデノウイルス(2 型)感染症

犬パラインフルエンザ感染症

犬パルボウイルス感染症

犬コロナウイルス感染症

犬レプトスピラ感染症（カニコーラ・イクテロヘモラジー・グリッポチフォーサ・ポモナ）

《犬ジステンパー》

高熱、鼻水、激しい咳、目やになどが出て、元気や食欲がなくなります。ケイレンなどの神経症状をおこすこともあり、死亡率が高い病気です。

《犬パルボウイルス感染症》

嘔吐、激しい下痢が特徴です。

伝染力が強く、脱水を起こし、子犬ではとくに死亡率が高い病気です。

《レプトスピラ感染症》

腎炎と肝炎を起こし、発熱・嘔吐・黄疸などにより死亡することもあります。原因菌に汚染された水を飲むことや、感染犬の尿から感染します。

初年度は確実な効果を得るために、ワクチンを1か月の間隔をあけて2回接種します。

子犬では生後2か月と3か月に接種すると高い予防効果が期待できます。

なお、ワクチンの効果は時間が経過するとしだいに低下していくため、1年ごとに追加接種することが必要です。

ワクチン接種の予約は不要です。体調の良いときにご来院ください。

